

令和3年度三田市高校生議会 質問書

【質問者】 1番 ひまわり特別支援学校 1年 中島 美空 (なかじま みく)

【担当課】 福祉共生部 共生社会推進室 障害福祉課

【答弁予定者】 市長

【質問事項】 将来の夢の実現について

【質問内容】

1番 高校生議員のひまわり特別支援学校1年の中島 美空です。私からは、将来の夢の実現について瞬きスイッチを使って伺います。

私は、高等部卒業後、福祉サービスを使って自宅から生活介護事業所に行き、毎日の生活を送ります。また、いろいろな場所に行き、人と出会い、たくさんの経験をしたいと思っています。

そのために、(スライド①) 学校では、身体の緊張をゆるめたり、身体をうまく動かしたりできるよう『体の学習』に取り組んでいます。また、(スライド②) 卒業後の余暇活動に向けて、「瞬きスイッチ」を使って、乗り物を動かしたり、音楽を聴いたり、視線入力でゲームをしたりしています。自分の気持ちを表現するためのコミュニケーションツールとして使用できるよう学習を重ねています。

私は、食べることが大好きです。(スライド③) 外食をしておいしいものを食べに行きたいので、おいしい料理を食べやすいようにきざみ食やペースト食に調理してもらえる店が増えることを願っています。そして、卒業後に社会資源を活用しながらたくさんの人と出会い、交流したいと思っています。そこで料理を食べに行ったとき、二次調理ができるお店が増え、嚥下が難しい人たちにとっての「Go To eat」や「Go To travel」が進み、障がいのある人や支援する人たちが、安心して集まれる場所やみんなが集まって交流できるような場所が増えることを願っています。

以上のことにつきまして、市のお考えをお聞かせ下さい。

【答弁内容】

中島議員の「将来の夢の実現について」の質問にお答えいたします。

議員の、いろいろな場所に行き、人と出会い、たくさんの経験をしたいという思いは誰もが望むことであり、障害の有無や程度にかかわらず、社会を構成する一員として、あらゆる

機会に参画できる共生社会を実現する必要があります。

そのため、障害による日常生活や社会参加の困難さを、障害のある人の問題としてとらえるのではなく、学校や職場、地域社会など環境との関係から生じるものととらえ、全ての市民が相互に理解し、積極的に関わりあいながら人生に希望や喜びを感じ、安心して暮らすことができるまちの実現をめざしているところです。

議員が高等部卒業後の進路に考えている生活介護事業所には、身体機能や生活能力の向上を目的として多くの人々が集まります。そこでは、カードゲームやテーブルボーリングなどの集団活動、手芸やカレンダー作りなどの創作的活動などを通して様々な出会いや交流が生まれています。

今後も、障害のある人が地域社会から孤立しないよう、合理的な配慮のもと、必要とされる社会資源を確保するとともに、障害のある人のニーズや特性等に応じた適切な支援を提供できるよう、サービス事業所や関係機関、市が相互に、より緊密な連携を図ってまいります。

次に、議員は食べるのが大好きで、おいしい料理を食べやすいようにきざみ食やペースト食に調理してもらえる店が増えることを願っているとのことですが、同じ思いを持つ人がたくさんいるのではないかと思います。

国の障害者差別解消法が改正され、障害のある方への合理的配慮が民間事業者にも義務付けされることになりました。障害のある方の求めに可能な範囲で対応しなければなりませんので、これから、きざみ食やペースト食の対応可能なお店が増えることを期待するとともに、事業者自らの意思で主体的に対応してもらえるよう、障害のある人への理解促進に向けて周知啓発を図ってまいります。

わがまち三田は、豊かな自然に恵まれ安全安心な食材が揃い、それを求めて多くの方が交流する活気のあるまちです。今は、コロナ禍により、以前のように自由に外食したり人が集まるのが難しくなりましたが、すべての市民が安全安心な暮らしができるよう、新型コロナウイルス感染拡大防止の徹底などに取り組むとともに、議員が学校卒業後に、たくさんの人との出会いや交流があり、毎日の生活が安全安心で安定した生活が送れるよう、地域での働き場所や居場所の確保をはじめ、障害のある人の自立に向けた取り組みを進めてまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

からだの学習



仰臥位での弛め学習

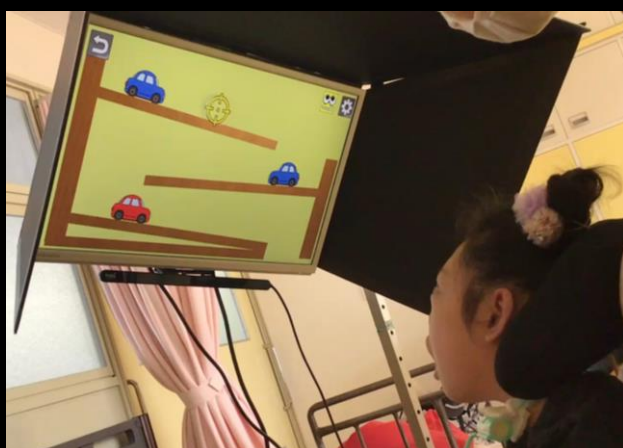


膝立ち姿勢

学習の様子



瞬きスイッチを使って乗り物（モッティ）を動かす。



視線入力装置を使ったゲーム



給食学習